

第3回開催決定！

教会合同 小学生キャンプ

2026

9/21(月・祝)

－22(火・祝)

【場所】

京都YMCA
リトリートセンター
(宇治市)

Shalom



【主催】
公益財団法人京都YMCA

【企画・運営】
教会合同キャンプ実行委員会
京都府キリスト教各派 有志
京都YMCAスタッフ

【後援】
京都キリスト教協議会



現在、開催に向けて
準備を進めています！
ここからご登録いただくと、
キャンプに関するお知らせを
ご連絡します！

「教会合同小学生キャンプ」とは？

「教会キャンプだからこそ」

少子高齢化やコロナ禍の影響により、教会学校を運営する教会が減少し、教会学校キャンプを開催できない教会が増えています。

1つの教会でできなくてもみんなで集まって行うことによって、教会の枠を超えて子どもたちが出会い、つながり、共に祈ることができるのではと合同キャンプが開催されました。

「ありのままの受容」

第一回目のキャンプでは子どもたちが思い思いに、自分の好きなことを探究する姿が印象的でした。完全にプログラムを作り上げるのではなく、ある程度時間もスタッフも余裕を持たせることで、子どもたちがのびのびと興味のあることに打ち込みました。火おこしに夢中になる子、広いキャンプ場を走り回る子、自然を探究する子、目を輝かせてそれぞれの好きを追求していました。

「分かち合う仲間」

子どもたちのほとんどは互いを知りません。別々の教会のつながり集まった子どもたちは、一緒にご飯を作り、作業をし、

好きを追求していく中であつという間に共に過ごす「仲間」になっていきました。

キャンプの終わりには、それぞれのしおりに互いのメッセージを書き、別れを惜しんでいました。

学校でもなく、家庭でもない場所で、大切な仲間ができることを子どもたちは喜びあっていました。

これもまた隣人と共に生きることを身をもって体験することだと思っています。

「つながり」

教会合同キャンプ委員会ではこのつながりを1回きりのものとはせず、ゆるやかにつながり続けることができないかを模索しています。

また子どもたちに限らず、なかなか普段は出会えない他の教会の方々とのつながりも構築されてきました。

キリスト教会が迎えている少子高齢化の現実を、主イエスを中心として教派を超えてつながりあうことで新しい道を探していけないか、そのことに挑戦していきたいと思っています。

第1回のキャンプのことを
キリスト新聞に取り上げて
いただきました♪



【教会合同小学生キャンプ実行委員】

熊谷 沙蘭（日本基督教団桂教会牧師）

後宮 嗣（日本基督教団世光教会伝道師）

片岡 希望（日本基督教団紫野教会教会員）

出口 崇（日本聖公会下鴨基督教会牧師）

佐々木 結（日本基督教団京都南部地区青年部・大学院生）

澤田 果歩（同志社国際中学校・フール学院高等学校 講師）

藤尾 実（京都YMCAディレクター・日本聖公会高槻聖マリヤ教会教会員）